

### ③水道局からのお願いとお知らせ

#### 水道メーターから蛇口までの水道管はお客様の管理財産です

各ご家庭の水道メーターから蛇口までの水道管はお客様の所有物です。破損や水漏れの際は、お客様のご負担で修理してください。(水漏れした分の水道料金も原則お客様の負担となります。)

なお、修理は水道局の指定給水装置業者をご利用ください。

※水漏れを確認するには…家中の蛇口を閉めてから水道メーターを確認してください。パイロット(メーター内の銀色の円盤)が回っていたら水漏れしている恐れがあります。

※水漏れの修理をされた場合は、修繕報告書を水道局に提出すると、水道料金の軽減をうけられる制度がありますので、ご相談ください。



お問い合わせは… 給水課、営業課  
又は営業所、出張所

お願い!

#### メーター検針にご協力を

メーターボックスの上に駐車したり物を置いたり、犬の放し飼いをされていると、水道メーターの検針ができません。また、家屋の増改築の際はメーターが見えにくい位置にならないようにご協力をお願いします。

お問い合わせは… 営業課

お願い

#### 引っ越しが決まったら水道局にも届け出を!

引っ越しの際は、水道の使用開始や中止の届け出をお早めをお願いします。

※受付は月曜～金曜(祝日除く)の8時30分～17時15分(電話でもお受けいたします)

お問い合わせは… 営業課又は営業所、出張所

お願い

#### 下水道受益者申請書の提出を

新たに公共下水道への接続が可能になったことで、平成21年度から受益者負担金を納める予定の人に、申告書を4月初旬に発送します。

申告書は受益者負担金算出の基礎となりますので、内容をご確認いただき、記名捺印して提出してください。

土地の所有者以外に権利者(賃借人など)がいる場合は、所有者と権利者が連名して提出してください。申告書の提出がない場合は、所有者に賦課されますのでご注意ください。

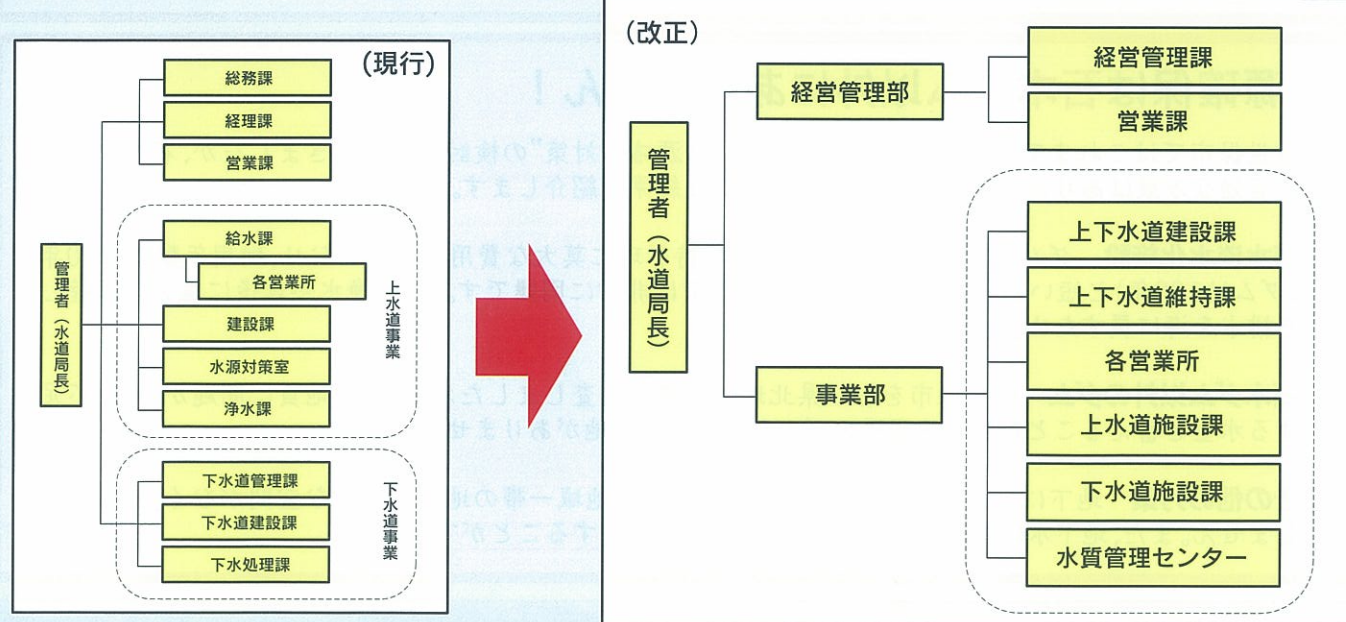
お問い合わせは… 下水道管理課

お知らせ

#### 水道局の体制が変わります

水道局は、より効率的に事業を推進するために、平成21年6月1日に機構改革を実施します。現在の9課1室から7課体制にスリム化するとともに、水道及び下水道施設の建設と維持並びに水質管理業務を上下水道一体的に行うなど、簡素で効率的な組織とします。「信頼される水道及び下水道を次の100年へ」を基本理念とする「上下水道ビジョン」に基づき、安全安心な水の安定供給と下水の安定処理を推進してまいります。

お客様から信頼される水道局であるよう職員一同努力してまいりますので、上下水道事業につきまして、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



# 水道だより

No.7  
(平成21年3月)

水道だより (No. 7) では、大きな山場を迎えている石木ダムについて、最近の動きを紹介するとともに、改めて石木ダムの役割等について説明します。

また、平成21年6月から水道局が新たな機構により業務を行いますので、その内容についてお知らせします。



#### 目次

- ①石木ダム建設促進の最近の動き
- ②改めて知ってほしい石木ダムの役割
- ③水道局からのお願いとお知らせ

#### 下水道普及促進にご協力を

河川や海の水質保全と住み良いまちづくりのため、公共下水道が利用できる地域にお住まいのご家庭は、できるだけ早く公共下水道に接続していただきますようご理解とご協力をお願いします。※トイレの水洗化工事等は、水道局の指定工事店以外では出来ませんのでご注意ください。また、改造資金の貸付制度がご利用できます。詳しくは下水道管理課までお尋ねください。

#### 口座振替が便利です

水道料金の納付は、口座振替が便利です。お申込みは水道局又は各営業所、銀行・郵便局など。

#### より安全でおいしい水を飲むために

長時間留守にした後などは、消毒用塩素が少なくなっていることがあります。また、ご家庭の水道管で、昭和53年以前に設置された水道管を使用している場合は鉛管が使用されている可能性がありますので、使い始めのバケツ1杯程度は飲み水以外にご使用ください。※個人所有の鉛管は取り替えをお勧めします。

お問い合わせは  
佐世保市水道局 ☎24-1151(代表)

# ①石木ダム建設促進の最近の動き

[平成20年9月6日]

**平**成6年度の大湯水を契機に、平成7年から水道局主催で行っている「水を大切にしようの日」を開催しました。式典の開会に先立って、消防局音楽隊を先頭に参加者全員で四ヶ町商店街をパレードし、石木ダム建設促進をPRしました。島瀬公園での式典では、市長や長崎県副知事、県議会副議長、市議会議員などのほか、今回初めて竹村一義川棚町長が来賓として出席され、石木ダム建設について挨拶をいただきました。



会場では川棚町木場地区の皆さんの木場浮立の演舞があり、川棚町物産展も開催され、佐世保市民と川棚町が一緒になって石木ダム建設促進を訴えました。

[平成20年12月7日]

**川**棚町住民の有志により11月18日に結成された「石木ダム建設促進町民の会」と長崎県、佐世保市及び川棚町の共催で「石木ダム建設促進町民大会」が開催されました。大会には川棚町の皆様を中心に約900名が参加し、ダム建設早期着工を求める大会アピールが採択されました。朝長市長は石木ダム建設促進町民の会会長や県知事、川棚町長とともに主催者挨拶を行い、佐世保市の水源不足の解決策は石木ダム建設以外にないことを訴え、会場から多くの拍手を受けました。

[平成21年1月27日]

**ア**ルカスSASEBO大ホールで、石木ダム建設促進佐世保市民の会と佐世保市の共催で「石木ダム建設促進佐世保市民総決起大集会」を開催しました。この大集会には来賓として長崎県知事や県議会議員、川棚町長、佐世保市議会議員が出席され挨拶をいただきました。県議会議員も、佐世保市選出の議員以外に市外の3名の議員にご出席いただき、石木ダム建設促進を表明されました。この大集会の参加者は2,300名を超え、朝長市長は主催者挨拶の中で、県知事に対して石木ダムを事業工程通りに推進していただくようお願いしました。



この大集会は、長崎県石木ダム建設事務所と佐世保市水道局が石木ダムの現状報告と必要性を説明した後、石木ダム建設促進佐世保市民の会により大会アピールが採択されました。

[平成21年2月16日]

**市**民大集会大会アピールを受けて、市長は石木ダム建設促進佐世保市民の会の役員の方々と一緒に、長崎県知事と長崎県議会議員に石木ダム建設促進を陳情しました。



[平成21年2月18日]

**県**議会、宮内議員を会長として、石木ダム建設推進議員協議会が設置されました。

## 同意されていない方々と対話を求める行動

○朝長市長の現地訪問、早朝お願い行動

朝長市長は平成19年4月の市長就任以降、毎月、建設に同意されていない方々のお宅を訪問しております。また、昨年6月から石木ダム建設促進佐世保市民の会の皆様と共に、早朝から川棚町のダム建設予定地など3箇所立って石木ダム建設促進のお願い行動を行っています。

○石木ダム生活相談所

朝長市長は県知事、川棚町長とともに、これまでに3回、相談所に出向きました。前2回は相談所に誰も訪れる人はいませんでしたが、2月23日の第3回目は、賛成されていない方々を中心に約50名の人たちが相談所へ向かう道路に立ち、石木ダム建設反対の意思表示がありました。その日は話し合いを行うことはできませんでしたが、市長は初めて賛成されていない方々と直接顔を合わせ、その際、市長としての考えを伝えました。



# ②改めて知ってほしい石木ダムの役割

## 治水と利水を兼ねた多目的ダムです

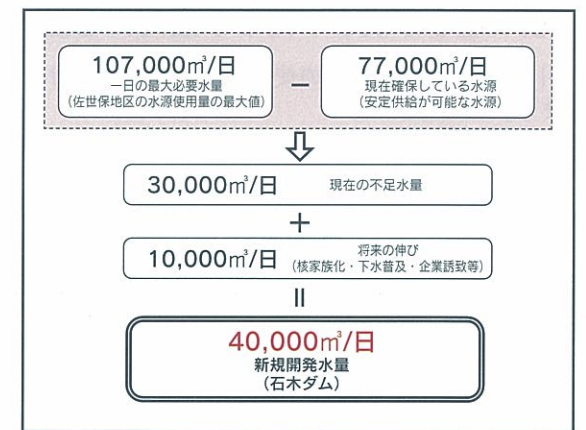
石木ダムは「①川棚川流域の洪水対策」「②佐世保市の水道水源の確保」「③川棚町の水道用水・農業用水の安定化」を主な目的とした多目的ダムです。ダムにはそれぞれの役割に応じた容量が決められています。(下図参照)

ダム	洪水調節容量	1,950,000m <sup>3</sup>	洪水を調節するための容量で、普段は空けておきます。大雨の時に一時的に水を溜めることで、洪水被害を回避・軽減します。
	新規利水容量	2,490,000m <sup>3</sup>	佐世保市の水道水源として日量40,000m <sup>3</sup> を確保します。
	不特定容量	740,000m <sup>3</sup>	現在、佐世保市が川棚川から取水している日量15,000m <sup>3</sup> や川棚町の水道用水・農業用水の安定化のために使われます。
	堆砂容量	300,000m <sup>3</sup>	ダム完成後100年間に堆積すると思われる砂の容量をあらかじめ用意しておきます。
合計		5,480,000m <sup>3</sup>	

## 将来的にも必要なダム

佐世保市は人口減少傾向にあります。核家族化の進行や水道未普及地区の解消などで、逆に給水世帯数は増加しています。風呂などの生活用水に使う水は世帯数の増加に伴って増えていきますので、水需要が上がっていきます。また、現在の佐世保市の下水道の普及率は約56%ですが、普及が進んでいくと、トイレの水洗化に伴い水道の使用量が増加していきます。

水源確保は、新たな企業等の誘致など経済浮揚にも欠かせませんし、異常気象の進行(熱帯化による干ばつのおそれ)への懸念もあります。現実に年々本市の降雨量は減少しており、湯水への備えの重要性は増えています。湯水となると、雨が降らないため河川の流量が減少し、河川からの取水ができなくなりますが、ダムに水を多く蓄えておくことができれば、ダムの水を使うことができるため、湯水に対する安全性が高まります。そのようなことから、石木ダムは将来的にも必要なダムなのです。



## 水源確保は石木ダム以外にありません！

佐世保市ではこれまでに、「石木ダムによらない水源確保対策」の検討も進めてきましたが、石木ダム以外に有効な方策はありませんでした。以下に検討した結果を紹介します。

○海水淡水化施設 ダムと比べて、施設の建設や維持管理に莫大な費用が必要となり、耐用年数も約20年(ダムは100年)と短いため、佐世保市の財政規模では非常に困難です。また、浄水処理後に塩分を濃縮した排水を海に戻すため、種々の課題が生じます。

○石木ダム以外のダム 佐世保市を含む県北地域一帯を調査しましたが、地形や地質に問題があり、不足する水量を蓄えることができる規模のダムを建設する適地がありません。

○その他の方策 地下にダムを建設する地下ダムは、県北地域一帯の地下に大きな空間がなく、地質も適しません。また、地下水にも乏しく、まとまった水量を確保することができません。

石木ダムは多くの人達に必要とされているダムです。皆さまの更なるご理解とご協力をお願いします。

真心と熱意を込めてお願いしよう、石木ダム!!